

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和5年5月16日

(あて先) 岐阜県知事 殿



提出者

住 所 大垣市林町七丁目141-4

氏 名 株式会社林組

代表取締役 林 広道

電話番号 0584-82-1637

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

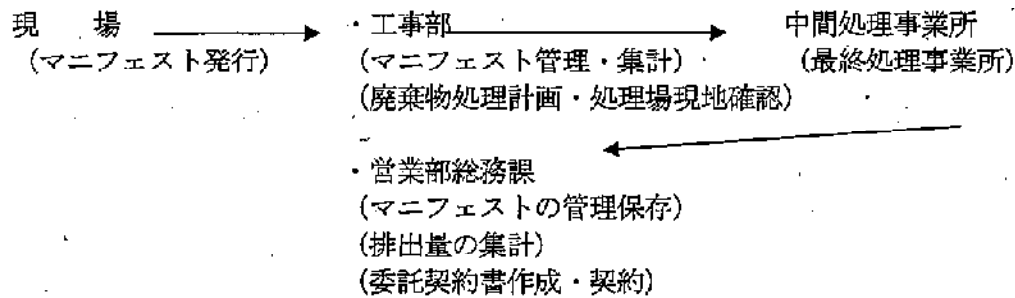
事業場の名称	株式会社 林 組
事業場の所在地	大垣市林町七丁目141-4
計画期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	はつり・解体工事業
②事業の規模	¥450,000,000——(完成工事高)
③従業員数	17人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	がれき類}→中間処理施設(破碎)→再生処理(リサイクル) 木くず }→中間処理施設(破碎)→サーマルリサイクル 紙くず }→中間処理施設(破碎・圧縮)→サーマルリサイクル 廃プラスチック→中間処理(破碎・圧縮)→埋め立て処分 廃ボード→中間処理(破碎・分別)→再生処理(リサイクル)

(日本工業規格 A列4番)

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



*マニフェスト 5年間保存

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（ 令和5年度）実績】（別紙1参照）	
	産業廃棄物の種類	
	排 出 量	
	（これまでに実施した取り組み） コンクリート殻の小割 鉄筋の分別 内装材（プラスチック類）の手作業撤去 屋根材の先行撤去	
② 計画	【目標】（別紙1-2）	
	産業廃棄物の種類	
	排 出 量	t t
	（今後実施する予定の取組） 各現場において、最適な解体方法を選定し、分別解体をすすめる。 なるべく、混合廃棄物の量を減らし、リサイクル率を上げる。 汚れないプラスチックは、再生利用又はサーマルリサイクルできるように分別する。	

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） がれき類（コンクリート殻、アスファルト殻、瓦類、ガラス類 木くず、石膏ボード、せんいくず、廃プラスチック）
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 混合廃棄物——分別を徹底する

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 特になし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 特になし		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) なし		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) なし		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（令和5年度）実績】 （別紙2参照）		
	産業廃棄物の種類		
	全 処 理 委 託 量		
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量		
	再生利用業者への 処 理 委 託 量		
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量		
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量		
	(これまでに実施した取組) 処理施設の定期的な視察・検査 適正に処理されているか、確認する マニフェストの回収の確認		

(第5面)

②計画	【目標】 未定		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組) リサイクル材の利用促進 分別解体の促進 (混合廃棄物の減量) 廃棄物の減量化 (現場での破碎、切断)		
※事務処理欄			

別紙 1

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項						
前年度(令和5年度)実績						
産業廃棄物の種類	ガラス・陶器類	がれき類	石膏ボード	混合廃棄物	繊維くず	廃プラスチック類
排出量 /t	30.32	1,140.58	1.53	24.91	1.35	1.85
産業廃棄物の種類	石綿含有産業廃棄物	木くず類				
排出量 /t	34.04	252.76				

別紙 1-2

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項						
今年度(令和6年度)目標						
産業廃棄物の種類	ガラス・陶器類	がれき類	石膏ボード	混合廃棄物	繊維くず	廃プラスチック類
排出量 /t	30	1,000	2	20	1	2
産業廃棄物の種類	石綿含有産業廃棄物	木くず類				
排出量 /t	30	200				

別紙 2

産業廃棄物の処理の委託に関する事項								
前年度(令和5年度)実績								
産業廃棄物の種類	ガラス・陶磁器くず	がれき類	石膏ボード類	混合廃棄物	繊維くず	廃プラスチック類	石棉含有産業廃棄物	木くず類
全処理委託量 /t	30.32	1140.58t	1.53	24.91	1.35t	1.85t	34.04	252.76
優良認定処理業者への処理委託量	6.20	0.15t	1.44	4.28	0.55t	1.75t	34.04	172.15
再生利用業者への処理委託量	24.12	1140.43t	0.09	20.62	0.8t	0.1t		80.61
認定熱回収業者への処理委託量								
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量								